

船舶事故調査報告書

平成23年7月14日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 石川 敏 行
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成23年2月14日 23時10分ごろ
発生場所	愛媛県今治市波方港北方沖 ^{なみかた} 今治市波方港広瀬灯標から真方位335° 1,700m付近（概位 北緯34°08.3′ 東経132°57.0′）
事故調査の経過	平成23年2月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等 乗組員等に関する情報	貨物船 ^{だいてう} 大東丸、497トン 132945、株式会社ブリジストン汽船 74.00m×12.00m×6.90m、鋼 ディーゼル機関、735kW、平成4年7月 船長 男性 68歳 五級海技士（航海） 免許年月日 昭和43年10月4日 免状交付年月日 平成22年11月12日 免状有効期間満了日 平成28年5月22日
死傷者等	なし
損傷	船尾船底に擦過傷
事故の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、船首約1.98m、船尾約3.60mの喫水をもって、来島海峡航路の中水道を通過したのち、同航路から航路外に出て波方港沖に錨泊するために約2ノット（kn）の対地速力で南進した。 船長は、本事故発生場所付近で約7～8回の通航及び約5～6回の錨泊の経験があり、また、波方港北方沖の三ツ磯付近の浅所を知っていた。 船長は、1人で操船に当たり、行き会い船や波方港からの出港船及び潮流に注意を向け、GPSプロッターやレーダーなどにより船位を確認せず、平成23年2月14日23時10分ごろ三ツ磯付近の浅所に乗り揚げた。 本船は、乗揚後、15日02時40分ごろ、上げ潮により自力離礁した。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南南西、風速 0.4m/s、気温 1.6℃ 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期、潮流 北西流約1.3kn
その他の事項	本船のGPSプロッターは、水深が表示されないものであった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、波方港沖で錨泊する際、船長が波方港からの出港船等に注意を払い、船位の確認を行わなかったことから、波方港北方沖の浅所に向けて航行していることに気付かず、同浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、波方港沖で錨泊する際、船長が、波方港からの出港船等に注意を払い、船位の確認を行わなかったため、波方港北方沖の浅所に向けて航行していることに気付かず、同浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	